



講師：水無田 気流さん

開催日

12月7日(土)

時間 午後1時～3時

会場 中央公民館3階
講堂

※駐車場は、市役所や中央公民館などの駐車場をご利用ください。

共にいきいき

市民のつどい

国学院大学経済学部教授で詩人・社会学者の水無田気流さんをお招きして、『「居場所」のない男、「時間」がない女』をテーマにお話しをしていただきます。

併せて、「令和元年度男女共同参画川柳」入賞者（最優秀1点、優秀3点、佳作5点）の表彰を行います。

大勢の皆さんのご来場をお待ちしております。

共にいきいき なかのプラン21

すべての市民が、性別にかかわらずお互いの生き方を尊重し合い、個性豊かに生きることができる男女共同参画社会の実現を目指します。

この計画の実現に向けて身近なところから実践しましょう



「女性活躍推進法」 が一部改正

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の一部を改正する法律」が6月5日に公布されました。2015年9月公布の女性活躍推進法の改正法で主な改正内容は以下の3点です。

- 1 一般事業主行動計画の策定義務の対象事業主の拡大
 - 2 女性の職業生活における活躍に関する情報公表の強化
 - 3 特例認定制度（プラチナえるぼし）の創設
- 女性活躍推進法の基本原則に

は、女性の職業生活における活躍の推進にあたっては、女性の職業生活と家庭生活との両立に関し、本人の意思が尊重されるべきであると明記されています。「女性の活躍」は、男性も含めたワークライフバランスの見直しや、女性の意思に基づいた働き方ができるような幅広い取り組みが必要になります。

少子高齢化時代を迎え、日本の生産年齢人口は、どんどん減り続けています。定年のない農業で元気に働き続けるため、企業に勤めるため、自営でお店を続けるため、男女が共に活躍していく男女共同参画社会の形成が重要です。



ご意見、ご感想、お問い合わせ、男女共同参画社会について、身近な問題などをお寄せください。
人権・男女共同参画課（中野市人権センター内） 〒383-0025 中野市三好町1-4-27

女性相談窓口から



日頃、さまざまなお話を聴かせていただく中で感じることは「社会の閉塞感」です。競争化や情報の波にさらされ、私たちは自然体で生きるのが難しくなりました。子供たちの学校帰りの道草が当たり前でなくなり、若者たちは将来への不安を口にします。見える危険・見えない不安に身構えて、気付かないうちに感覚が鋭敏になっているようです。「ま、いいか」でやり過ごせない日常に悩みは生まれます。

人の悩みにAI搭載の優秀なロボットは関わる事ができるのでしょうか。統計や機能で人の心情が測れるとは信じがたいのですが、私たちが「こうあるべき」と理屈で解決を図ろうとするのは、ロボット機能に似た対応と言えるでしょう。「人は人によって蘇える」です。

あなたは憂鬱な時、大草原の真ん中で大の字になって空や風を感じたい、なんて思ったことはありませんか？そんなことを思い描いて心が少しでも、軽くなるといいですね。傍らの思いの通じる人に話せると、もっと良いかもしれません。

■女性相談専門の相談員がさまざまな悩みの相談をお受けします。相談は無料です。秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

☎(23) 4810

○会場 中野市人権センター

○対象 市内在住の女性

○相談日 月々金曜日
(祝日は除く)

○相談時間 午前8時30分～午後5時15分

※面接を希望される場合は、要予約

男女共同参画セミナー

毎年、男女共同参画セミナーをさまざまな内容で開催しています。今年度、10月までに開催した4回のセミナーの様子をお伝えします。

第1回と2回は、「コーチングで自分の心とコミュニケーション！自分も周りの人も大切にできる方法」を聞きました。講師は、田中優美子さんです。自分ですぐにできる自己肯定感がじわじわ高まる方法を実践



▲第1回目のセミナーの様子

しました。「自己肯定感はいつからでも高めることができる」を参加いただいた皆さんと確認をしました。

第3回は、講師 三井洋子さんで「イライラ・落ち込み・自

己嫌悪等、嫌な気分には振り回されないコツ」です。

三井先生からは「私たちは生きものだから、生き延びるために感情というセンサーが働くようにできている。感情が自然に沸くようになっているので、表現することを止めない、感情表現を我慢しない。お互いの気持ちを大切にしたりとりを心掛けよう」とお話がありました。また、感情の受け入れ方法を具体的に示していただきました。

第4回は、清泉女子学院出張出前講座を利用し、清泉女学院



▲第3回目のセミナーの様子

大学人間学部の岡本かおりさんに「回復を助ける人になる（入門編）」で緊急事態の回復のプロセス、知っておきたい心理支援の方法を聞きました。

各回とも、20歳代から80歳以上までの幅広い年代の皆さんにご参加いただいています。